

株式会社プリンスホテル
安全報告書（2009年）

ご挨拶

平素よりプリンスホテルをご利用いただき、誠にありがとうございます。また日頃からご指導ご鞭撻いただき、重ねてお礼申し上げます。

当社は西武グループの中核会社としてホテル、ゴルフ場、スキー場を経営しております。本報告書は、ゴンドラ、ロープウェイ、リフトの索道事業について、安全に対する取組み状況やその結果を皆さまにお知らせするため、鉄道事業法に基づき公表するものです。

索道の「輸送の安全の確保」について、鉄道事業法に基づき活動を開始して2年半が過ぎました。この間、社員に対する教育訓練や安全管理体制の見直しなど、継続的に改善を実施してきました。

先シーズンは、特に救助訓練に力を入れ、警察・消防のご指導をいただき合同救助訓練を実施しました。2月には新潟地区でスキー場の全リフトが一齐に停止する大規模停電がありましたが、速やかにお客さまを救助することができました。これも日頃の訓練の成果が発揮されたものと思っております。

今後もグループビジョン「でかける人を、ほほえむ人へ。」の実現に向け、安全を最優先に事業を推進し、スキー産業の発展に寄与してまいりますので変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2009年8月



代表取締役社長
渡辺 幸弘



苗場-田代ゴンドラ



富良野ロープウェイ



八海山ロープウェイ

| 目 | 次 | ページ |
|----------------------|------------------|-----|
| 安全方針および安全重点施策 | | 3 |
| 安全確保のための管理実績 | | 4 |
| 1. | 安全管理体制 | 4 |
| 2. | 安全方針を実現化する活動 | 5 |
| | (1) 安全方針実施状況 | 5 |
| | (2) 社員教育の実施 | 7 |
| | (3) その他の安全管理方法 | 8 |
| 3. | 行政指導に対する措置の状況 | 9 |
| | (1) 運輸安全マネジメント評価 | 9 |
| | (2) 保安監査 | 9 |
| 安全確保のための措置 | | 10 |
| 1. | 緊急時対応訓練 | 10 |
| 2. | 施設の点検・整備 | 11 |
| 安全確保のための活動 | | 12 |
| 1. | お客さまからのご意見 | 12 |
| 2. | お客さまへのお願い | 13 |
| その他の活動 | | 14 |
| 1. | お客さまとの交流 | 14 |
| 2. | 環境保全のための活動 | 14 |
| 3. | 観光営業のご案内 | 14 |
| おわりに | | 15 |

安全方針および安全重点施策

索道輸送の安全を確保するための安全方針および安全重点施策

安全方針5項目、および各項目に基づく安全重点施策をそれぞれ2～4項目定め、活動しています。

1. お客様の声、地域の声、お客様の目線を大切に「安全」を基本に本事業を推進します。
 - (1) ホームページの「ご意見・ご要望」の情報、サゼッションカードを活用する。
 - (2) 日頃からお客様の立場に立って、改善が必要な項目がないかチェックする。
2. 輸送の安全を確保するための関係法令を守ります。
 - (1) 運転細則に基づき、人員を適切に配置する。
 - (2) 整備細則に基づき、1年点検、1ヶ月点検、始業点検を実施する。
 - (3) 索道設備についての技能、知識を向上する。
 - (4) 監督官庁に対する申請・届出書類を確実に提出する。
3. 会社および事業所の協力の下、一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
 - (1) 施設整備、要員の確保を確実に実施する。
 - (2) 常に気象情報を把握し、天候の変化に柔軟に対応する。
4. 安全管理体制の^{ふだん}不断の確認を履行し、情報は漏れなく^も迅速^{じんそく}、正確に伝え、透明性を確保します。
 - (1) 日常の業務のなかで安全第一を徹底する。
 - (2) 事故、ヒヤリ・ハット情報を社内で共有する。
 - (3) 他事業所の事故情報を社内に展開し、同様事故を防止する。
5. 事故・災害の発生時は、人命救助を最優先に慎重に速やかに適切に行動をとります。
 - (1) 装置の取り扱いを習熟し、また指揮命令系統、役割分担を明確にする。
 - (2) 人命救助、捜索、また二次災害の防止等については地域と一体となり行動する。

安全確保のための管理実績

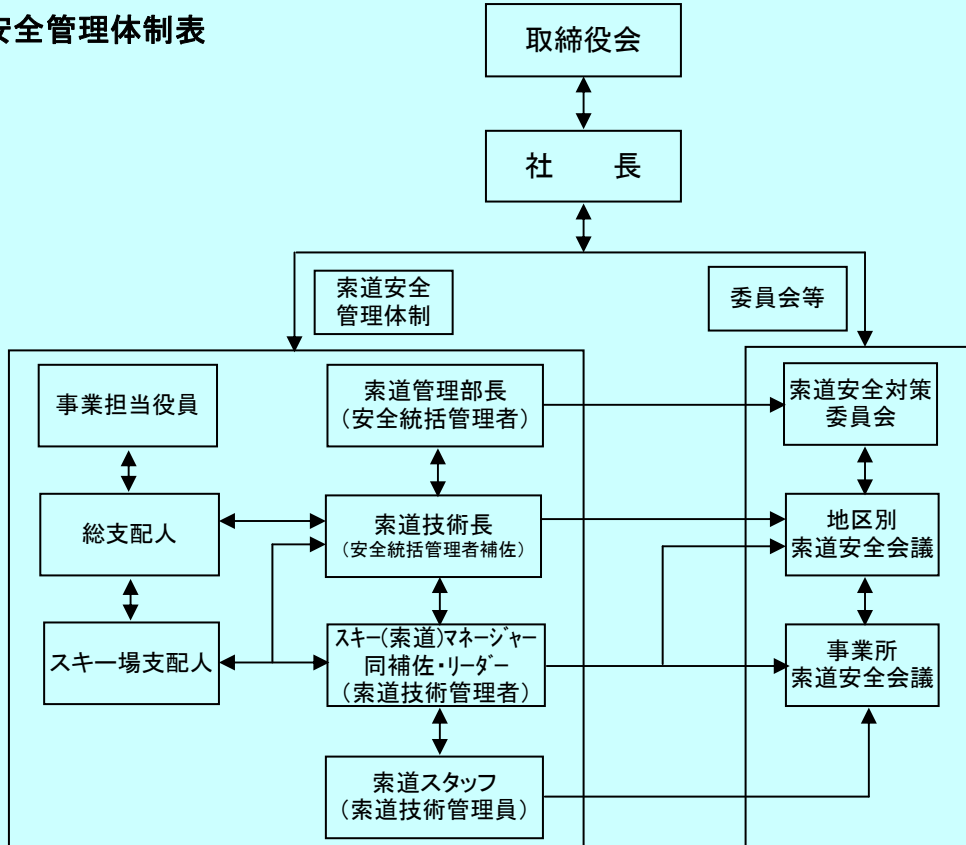
1. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を確立し、各責任者の責任を明確にしています。当社は全国各地にスキー場を保有していますので、スキー場を4地区に分け、各地区に安全統括管理者補佐を配置し、安全統括管理者を補佐しています。

安全統括管理者は、通達・巡回により、スキー場の索道技術管理者に対して指導を行っています。

| 役 職 | 責 務 |
|-------------------|----------------------------------|
| 社 長 | 輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。 |
| 安 全 統 括 管 理 者 | 安全確保を最優先した輸送業務を統括管理する。 |
| 安 全 統 括 管 理 者 補 佐 | 担当地区における、安全確保を最優先した輸送業務を統括管理する。 |
| 索 道 技 術 管 理 者 | 索道の運行・索道施設の保守・係員の教育訓練の実施を統括管理する。 |
| 索 道 技 術 管 理 員 | 担当する個別の索道の運行・索道施設の保守を管理する。 |

索道安全管理体制表



2. 安全方針を実現化する活動

(1) 安全方針実施状況

安全方針および安全重点施策を各事業所で推進し、輸送の安全を追求しています。全事業所から1062件の実施報告がありました。以下に抜粋を示します。昨年度は特に救助訓練に力を入れ、地元の警察・消防のご指導をいただきながら、合同救助訓練を実施しました。

方針 1 お客さまの声、地域の声、お客さまの目線を大切に「安全」を基本に本事業を推進します。

- 4月26日 ゴールデンウィーク期間中ロープウェイ運行開始を、7時から6時30分に変更した。ホテルご宿泊の団体のお客さまから時間に余裕ができると好評であった。
- 7月 9日 ホテルご宿泊のお客さまから「ロープウェイ山頂にも気軽に歩ける散策路的な散歩道があると良いですね」とのことから、山頂に散策路を作った。
- 7月19日 田代ロープウェイ、苗場ー田代ゴンドラの夏期営業に伴い田代高原でトレッキングガイドを無料で行い、多くのお客さまに喜んでいただいた。
- 8月18日 ロープウェイ山頂が霧雨の時に「傘は置いてないですか」との問い合わせがあった。山頂駅舎に傘を4本用意した。山麓で降っていなくても山頂で降る時もある。

方針 2 輸送の安全を確保するための関係法令を守ります。

- 6月23日 雪付け作業等で必要な資格として、車両系建設機械運転技能資格を2名取得した。
- 9月18日 運輸局主催の索道技術管理者研修会に出席し、索道技術全体の知識向上が図られた。19日 索道技術管理者の責務、保守管理等、19年度事故例の教訓等。
- 11月13日 地元消防12名と合同救助訓練を実施した。(ゴンドラ救助用具および取扱い説明・第2ゴンドラ救助訓練・ロープウェイ救助訓練および取扱い説明)
- 12月 9日 冬期従業員の安全講習会を開催した。服務規程、就業規則、安全管理およびゴンドラ救助用具を使用した取扱い方法等について研修した。

方針 3 会社および事業所の協力の下、一致団結して輸送の安全の確保に努めます。

- 6月27日 索道線路・ゲレンデの刈り払い作業のため、長野県林業センターにて「刈払い機取扱い資格取得講習会」へ1名参加させた。講習内容を事業所内に発表した。
- 7月27日 突然の天候変異により雷発生、13:40~15:30営業見合わせ。15:30より再開し下りのお客さまは4回に分けて無事下山していただいた。
- 9月19日 第5回索道安全対策委員会で、社長から「岩手県内の地震の影響について夏期整備中に再度点検すること」との指示があり、全索道を点検の結果、異常なかった。
- 1月13日 東京電力ホームページから随時雷情報を収集すると同時に雷感知器の作動により、運行している索道の運転を一時運休し事故を未然に防止することができた。
- 3月16日 気温の上昇に伴い、各リフト周り・ゲレンデの危険箇所(雪崩注意箇所)を、パトロール係と連絡を取り合って注意するように指示した。

**方針 4 安全管理体制の不断の確認を履行し情報は漏れなく迅速、正確に伝え
透明性を確保します。**

- 4月11日 事業所索道安全会議を開催し、索道技術管理者から今シーズンの反省、トラブル状況を報告。情報の共有に努めた。
- 4月16日 安全統括管理者補佐から他社の事故の判決新聞記事が回覧された。整備不良は重大事故に繋がることを再認識し、確実な整備を実施するよう再確認した。
- 6月 3日 他スキー場の予備原動機補助ポンプクラッチ部劣化によるトラブル報告に伴い、この夏期作業で確実に点検を行うことを確認した。
- 12月26日 他事業所でのリフトから落下する事故を受け、各リフトにおいて未就学児は保護者同伴で乗車していただくよう徹底した。
- 1月29日 安全衛生委員会で支配人より、索道事故、労災事故、健康管理、落雪注意の指示、産業医よりインフルエンザ、総支配人より部下の健康管理の指示があった。
- 2月13日 安全統括管理者から「新潟の停電では、敏速な判断に基づく連絡体制と救助で無事故の対応ができた。日頃から緊急時の体制を整えておくこと」と指示があった。

方針 5 事故・災害発生時は人命救助を最優先に慎重に速やかに適切に行動をとります。

- 4月 3日 レストランと合同で、消防訓練を実施。ロープウェイ山麓駅舎に隣接するラーメンコーナーより出火したとの想定で、避難誘導、消防署への通報訓練をした。
- 6月 5日 広域消防署主催、救急法短期講習会に4名参加。その中でAEDの取扱いについて、講習、実地訓練を行った。
- 12月14日 冬期シーズン前に臨時社員を集め救助訓練を実施。消防・警察にも参加していただき、ロープウェイの救助用具の機能の説明をし、応援体制を整えた。
- 12月16日 富良野地区消防本部講堂において、スキー場内事故時のスキー場と消防救急隊との連携、ドクターヘリ要請時の連携、ホテル火災時の問題点等の打合せを行った。
- 2月10日 本日発生した全面停電において、各エリアごとの救助体制が綿密にとれ、予備エンジンにて救助することができた。日頃の訓練と点検が良い結果になった。

事業所での実施項目報告数の内訳

| 方針 | 番号 | 安 全 重 点 施 策 | 報告数 |
|-----|-----|--------------------------------------|------|
| ① | (1) | ホームページの「ご意見・ご要望」の情報、サゼッションカードを活用する。 | 58 |
| | (2) | 日頃からお客さまの立場に立って、改善が必要な項目がないかチェックする。 | 46 |
| ② | (1) | 運転細則に基づき、人員を適切に配置する。 | 65 |
| | (2) | 整備細則に基づき、1年点検、1ヶ月点検、始業点検を実施する。 | 146 |
| | (3) | 索道設備についての技能、知識を向上する。 | 88 |
| | (4) | 監督官庁に対する申請・届出書類を確実に提出する。 | 67 |
| ③ | (1) | 施設整備、要員の確保を確実に実施する。 | 78 |
| | (2) | 常に気象情報を把握し、天候の変化に柔軟に対応する。 | 61 |
| ④ | (1) | 日常の業務のなかで安全第一を徹底する。 | 129 |
| | (2) | 事故、ヒヤリ・ハット情報を社内で共有する。 | 82 |
| | (3) | 他事業所の事故情報を社内に展開し、同様事故を防止する。 | 109 |
| ⑤ | (1) | 装置の取り扱いを習熟し、また指揮命令系統、役割分担を明確にする。 | 90 |
| | (2) | 人命救助、捜索、また二次災害の防止等については地域と一体となり行動する。 | 43 |
| 合 計 | | | 1062 |

(2) 社員教育の実施

① 社員教育実施細目

当社では、索道安全教育要領内に社員教育実施細目を定めております。

② 社員教育実施状況

各事業所の索道技術管理者が、それぞれの要員について技能や経験を基に力量を判断し、必要な教育を決定して年間の教育訓練計画を策定しています。計画されたもののほか、計画外の教育についても必要に応じて実施しました。



冬期臨時社員安全教育・労務管理説明会



索道技術管理者による冬期臨時社員業務説明会



スキー場支配人による「従業員安全教育」



お客さまの緊急事態に備えて広域消防署主催の救急法講習会に参加、AED取扱い訓練

(3) その他の安全管理方法

① 安全会議の推進

社員の要望、危険の芽を知らせる声等を経営トップが把握できるように、事業所安全会議、地区安全会議を開催し、索道安全対策委員会に提出しております。

② 内部監査の実施

全国9箇所のスキー場および索道管理部に対して、監査部による内部監査が実施されました。安全管理規程の遵守状況、労務管理等について確認が行われました。



地区役員、総・支配人、索道安全統括管理者等が出席する地区安全会議（北海道地区）



地区総支配人・索道安全統括管理者等が出席する地区安全会議（東北地区）



地区役員、総・支配人、索道安全統括管理者等が出席する地区安全会議（長野群馬地区）



監査部による内部監査（万座温泉スキー場）

3. 行政指導に対する措置の状況

(1) 運輸安全マネジメント評価

- ① 当社で初めての運輸安全マネジメント評価が2008年10月16日～17日の2日間、本社で行なわれました。
当社は各地にスキー場を保有していることから、関東運輸局をはじめ北陸信越・東北・北海道の各運輸局の担当官が出席して実施されました。
オープニングミーティングの後、社長・安全統括管理者他へのインタビューが実施されました。



オープニングミーティング

(2) 保安監査

- ① 国土交通省北海道運輸局の保安監査が2008年6月16日～17日の2日間、富良野スキー場で行われました。
1日目は現場確認、2日目は書類審査が行われました。
鉄道事業法に基づく安全管理の実施状況や、索道施設の状況、救助訓練・安全会議・施設整備の状況について、確認していただきました。
監査の結果、指摘事項はなく、引き続き索道安全管理規程を遵守していくようご指導をいただきました。
- ② 当社の全事業所において、当日までの索道事故は無かったことを報告させていただきました。
その後シーズン終了まで全事業所での索道事故はありませんでした。



富良野ロープウェー搬器内、保安装置の説明



書類の確認

安全確保のための措置

1. 緊急時対応訓練

索道が不時停止した場合、予備原動装置に切り替えて運転する方法と、救助装置によりお客さまを救助する方法があります。
緊急時にも冷静な判断と的確な操作が行えるよう、日頃から訓練しています。



予備原動装置操作訓練



予備原動装置操作訓練



予備原動装置操作訓練



ゴンドラ救助訓練



ロマンスリフト救助訓練



ロマンスリフト救助訓練



消防署との合同訓練



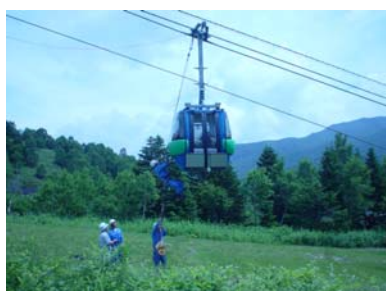
消防署との合同訓練



消防署との合同訓練



ゴンドラ救助訓練



ゴンドラ救助訓練



ロマンスリフト救助訓練

2. 施設の点検・整備

整備計画に基づき、施設の点検・整備を実施しました。



ロープウェー支柱点検



ゴンドラ索受整備



ゴンドラ減速機解体整備



搬器握索装置解体整備



電気設備点検

1. お客さまからのご意見

先シーズンもたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただいたご意見の総数は459件で、内訳は以下のとおりです。

| | 要望 | 苦情 | おほめ |
|-------|-----|----|-----|
| 接客態度 | 27 | 26 | 151 |
| 看板・表示 | 19 | 6 | 3 |
| 施設・設備 | 40 | 18 | 53 |
| 索道乗車 | 24 | 7 | 34 |
| その他 | 10 | 13 | 28 |
| 計 | 120 | 70 | 269 |

2. お客さまへのお願い

リフトをご利用の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。
なお、この内容を記載した看板をスキー場に設置しておりますのでご覧ください。

リフト利用者の皆さまへ

あなたの行動は、あなたと他の利用者全員の安全に関わっています。リフト利用にあたっては、責任と義務がともないます。次のことを守ってください。

〈乗車時〉

1. リフト利用に不安な方は、係員へ申し出てください。
2. 子供どうしでリフトに乗るときは、係員に声をかけてください。
3. 「のりば」の表示位置でスキー、スノーボードを正しく前に向けて待機してください。
4. 乗れなかったら、直ぐにリフトから離れてください。
5. スキーヤーは、ストックがとなりの人の迷惑にならないように注意してください。
6. リュック等はヒザにのせ、衣服等のヒモにも注意してください。
7. ボーダーは、流れ止めをつけ、ハイバックをたたんでください。

〈乗車中〉

1. 安全バーを下ろし、深く腰をかけてください。
2. 乗っているときは、次のことを行わないでください。
 - (1) イスを揺らすこと。
 - (2) イスから飛び降りること。
 - (3) イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
 - (4) スtock等で柱などにさわること。
3. リフトが止まっても飛び降りないでください。

〈降車時〉

1. 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んでください。
2. 降りられなかったら、そのままイスに座っててください。停止します。

〈お願い〉

1. 未就学児（6歳未満）は保護者同伴での乗車をお願いします。

係員の指示に従ってください。

その他の活動

1. お客さまとの交流

各地のスキー場ではスキー以外にも各種イベントを開催しています。



田代高原 秋祭り



スノードッグフェスティバル



早朝営業



地元放送局35周年記念イベント



ミス・かぐら
クイーンコンテスト



新潟ときめき国体
スノーボードクロス大会

2. 環境保全のための活動

各地のスキー場では、お客さまに良好な自然環境でのスキースポーツを満喫していただくために、環境保全に力を注いでいます。シーズン中、シーズン後に各索道線下・駐車場・林間コース・ゲレンデ等の清掃・整備を行っています。



スキー場付近の県道清掃



清掃後のゴミの分別処理



スキー場沿線道路清掃

3. 観光営業のご案内

今年もロープウェー・ゴンドラの観光営業を行っております。どうぞご利用ください。詳しくはホームページをご覧ください。現地へお問い合わせください。

富良野ロープウェー

苗場－田代ゴンドラ

田代ロープウェー

八海山ロープウェー

焼額山第1ゴンドラ

おわりに

私たちは、設備を適正に管理し安全に運行することによって、索道をご利用のお客さまに安心をお届けしたいと考えています。来シーズンも安全管理体制をさらに強化し安全を追求してまいります。今後ともプリンスホテルをご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

富良野スキー場

雫石スキー場

苗場スキー場

かぐらスキー場

六日町八海山スキー場

軽井沢プリンスホテルスキー場

万座温泉スキー場

志賀高原焼額山スキー場

妙高杉ノ原スキー場

安全報告書に関する問い合わせ先

株式会社プリンスホテル
索道管理部
東京都豊島区東池袋3-1-5
TEL 03-5928-1123

本報告書の内容は、2008年度の活動状況を記載したものです。